

西濃地区家庭教育応援通信

No. 10

令和4年10月14日発行

みんなで子育て

園や学校の状況に合わせて工夫ある家庭教育学級が開催されました。

西濃県務所 振興防災課 振興防災係

家庭教育担当：酒井 俊巨

電話：0584-73-1111 <内線212>

バックナンバーはこちら ⇒

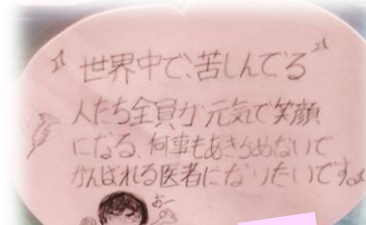
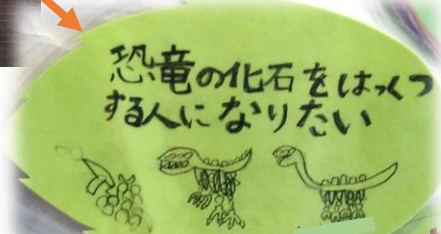


関ヶ原小児童の将来の夢

関ヶ原町立関ヶ原小学校 PTA 家庭教育学級
地域の図書館との連携したキャリア教育にも
なる家庭教育学級です。

「みんなの夢で大きな樹」

【在宅取組型】 令和4年8月 関ヶ原ふれあいセンター
ふれあい図書館前に掲示



花や葉の裏には、家族からの温かい応援メッセージがあります。掲示後は、ラミネートをかけて、児童に返却されました。一生の宝物になりますね。

夢に向かって英語の勉強を頑張っているのよ、おうち応援しているからね。これから先、苦しい時や迷う時があるかもしれないけど、お母さんとお母さんは、いつか、の味方だからね。いつか、が働いている飛行機に乗って、海外へ旅行できる日が来るのを楽しみにしてるよ！
お母さんより

恐竜はほせのくん、とこせん恐竜にふてくわくなって夢がかなうといいね！（お母さんより）
恐竜の化石を発掘して、世界の研究者になつてほしい。がんばるよ！（お母さんより）

仕事の本 特設コーナー

令和4年度 関ヶ原小学校 PTA 家庭教育学級

『みんなの夢で大きな樹』

関ヶ原小学校の児童が、葉っぱや花びらに将来の夢を描きました。みんなの夢が集まって、大きな樹が出来上がりました。

“子供たちの夢を、地域全体ではぐくんでいきたい”
”将来の夢を持つことで、未来に向かって努力できるようになって欲しい”

そんな願いを込めて、取り組みました。
子供たちの夢を温かく見守ってあげてください。【掲示の言葉より】

関ヶ原小学校全児童の夢がいっぱい掲示されました。その夢の実現のため、ふれあい図書館の司書さんと協力して、仕事に関する本を集め、特設コーナーを図書館内に設置しました。掲示を見に来た後に借りていく親子もありました。



揖斐川町立揖斐小学校 PTA 子育て委員会 家庭教育学級

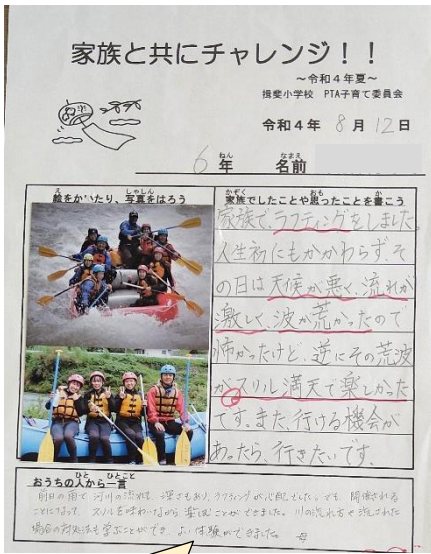
親子一緒にの時間をとりやすい夏休みならではの家庭教育学級です。

「家族と共にチャレンジ！」

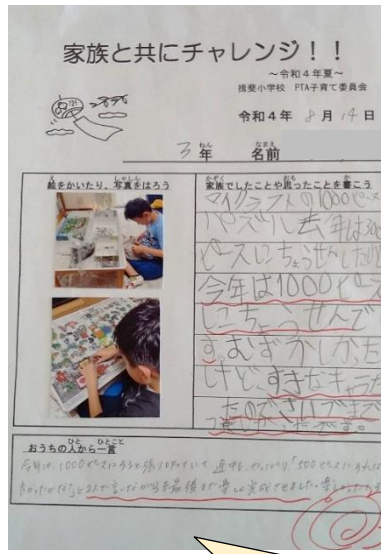


【在宅取組型】 令和4年8月 夏季休業中

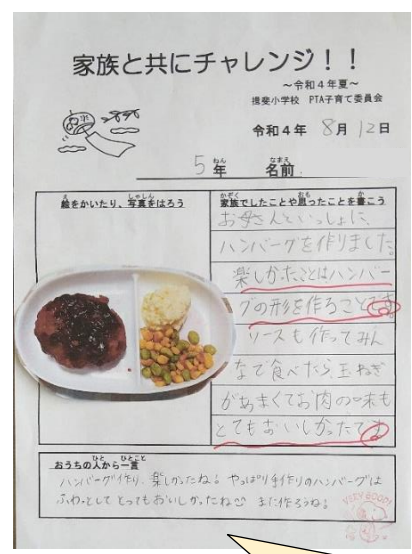
夏休み中に家族と一緒にチャレンジする在宅取組型家庭教育学級です。山に登ったり、食事を作ったり、ものづくりをしたり…。夏休みだからこそ、一緒に活動し、一緒に思い出を作り、親子の絆を深めました。



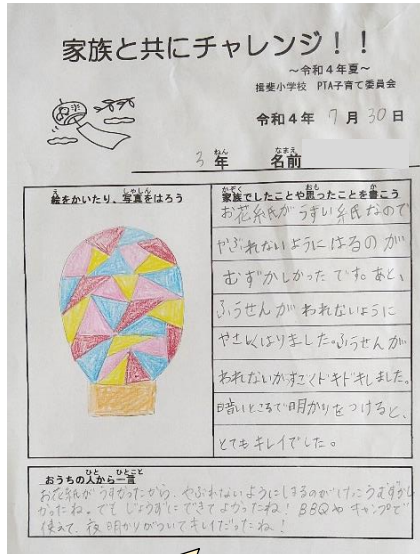
前日の天候が悪かった分だけスリル満点のラフティング体験となりました。



1000ピースのパズルに親子で挑戦！「500ピースにすればよかったかな。」と言いながら楽しく完成しました。



お母さんと手作りハンバーグに挑戦！ソースも手作り。ふわっとしてとってもおいしかったそうです。



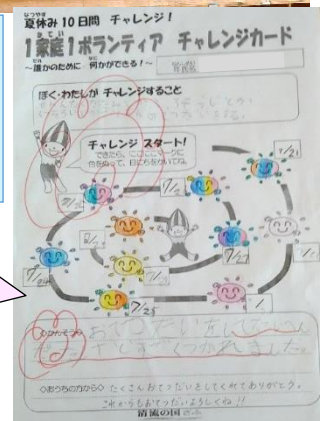
風船とお花紙でランプを作りました。BBQ やキャンプの明かりにもしたそうです。



チャレンジカードは、教室の後ろに掲示され、その他の夏休みの作品と一緒に保護者の方に見てもらいます。



夏休みは、10日間「1家庭1ボランティア」にも取り組んでいます。



池田町 市橋保育園 家庭教育学級

園の活動をより一層高める家庭教育学級です。

「幼児のための靴教育」

【講演会型】 令和4年8月31日(水)
10:00~11:30



講師:早稲田大学
人間科学学術員招聘研究員
吉村 真由美 様

昔は、生活の中で身に付けることができた子どもたちの運動能力が、便利な生活と引き換えにできなくなってきました。市橋保育園では、「毎日体操」として体づくり運動を行っています。運動能力の基礎ができあがるこの時期を大切に、用具を使って体幹や筋力をつけています。この日は、豆袋を一人一つ使って、投げたり、つかんだり、バランスをとったりしました。



一人一つの豆袋

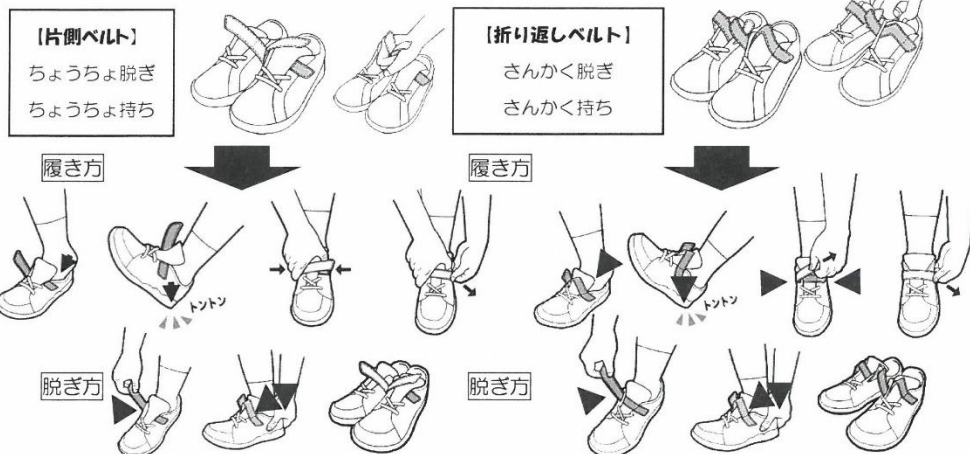


この時期に靴を正しく選び、正しく履くことは身体の成長のために大切であることを認識し、子ども達だけでなく、保護者にも使用している靴を持ってきてもらい、正しい履き方を体験してもらいました。



足感覚を研ぎ澄ます **片側ベルト靴**の正しい履き方と脱ぎ方 繰り返して習慣づくり!

- ①【準備】ペロを十分に立ててベルトを乗せる(ちょうの羽根になっている)。(左右が正しく揃い・ベルトが外れた状態)
- ② ペロを持って足を入れたら、「かかとをトントン合わせる」=かかとホールド動作
- ③ 靴と同じ側の手でベルトを持ち、逆の手で足と靴の隙間をなくすように、甲の部分をギュッと引き寄せる=足首ホールド動作
- ④ 靴が足にフィットしたのを確かめて、ベルトを強く引っ張って**固定する**。完成!
- ⑤【片付け】靴ベルトをはずしてちょうちょ脱ぎし、ちょうちょ持ちで靴箱にしまう。
(折り返しベルトはさんかく脱ぎ・さんかく持ち)



正しい情報を広く伝えるため、本資料内容の無断引用、無断転載を禁じます。必要の際はお問い合わせください。
©吉村真由美 ©Mayumi YOSHIMURA 吉村真由美ホームページ <http://yoshimuramayumi.com/>

かかとをトントンと合わせ、足と靴の隙間をなくすようにしてから、ベルトをギュッと寄せると、足と靴の一体感が増し、軽く感じられます。また、いざという瞬間に素早く動くことができ、事故を防ぐことができます。

大垣市立東小学校 家庭教育学級

ライオンズクラブとの共催で実現した家庭教育学級です。

ようこそ！堀島行真選手！

オリンピック選手のお話を聞こう

【講演会型】 令和4年9月2日(金)

1, 2, 3年生 9:40~10:15 4, 5, 6年生 10:50~11:25



モーグル選手でもある PTA 会長のご縁と大垣ライオンズクラブの共催を得て実現しました。当初は、親子でお話を聞く予定でしたが、コロナ感染症予防のため、全校児童を2グループに分けて、2回講演としました。保護者へは、後日、YouTubeの限定配信で観ていただくことにしました。

東小学校では、今年から、家庭教育学級を行う際、保護者ボランティアを募っています。当日は、たくさんの「ボランティアスタッフ」が会場設営、運営、進行を行いました。



イベント概要 発行:大垣市立東小学校 PTA

北京五輪モーグル銅メダリスト
堀島行真選手 来校記念イベント

日時: 令和4年9月2日(金)
2部制…第一部(2時間目)…1・2・3年生、第二部(3時間目)…4・5・6年生

場所: 東小学校 体育館

内容: オリンピック選手のお話を聞こう

対象: 東小学校児童 487名

主催: 大垣市立東小学校 PTA

協賛: 大垣東ライオンズクラブ

<開催の経緯>

コロナ禍においても、「子ども達の心が動くようなイベントを企画したい」とPTAで企画立案をスタート。今期PTA会長の田中と堀島行真選手は以前から交流があり、講演を打診しご快諾いただきましたが、予算面で困っていたところを地域の大垣東ライオンズクラブ様から協賛のお話を頂戴し、今回の企画が実現いたしました。

<PTAの取組み>

子ども達に、堀島選手に興味を持ってもらい、当日を楽しみにして迎えてもらうため、PTAとして以下の取組みを行いました。

・児童へアンケート実施「堀島選手に聞きたいこと」

堀島選手への質問を募集しました。堀島選手にも集計結果を共有し、お話に取り入れていただくよう依頼しました。また、堀島選手のご厚意で質問すべてに対して文章で回答いただいたので、後日その内容を子ども達に紹介する予定です。

・歓迎うちわ制作

堀島選手との事前打合せの際、堀島選手は言葉を大事にし、心の支えにしているというお話を聞き、子ども達にも好きな言葉や大事にしたい言葉を考えてもらい、それをうちわに書いて堀島選手にお見せして交流のきっかけになればと思い、企画しました。

特製うちわ(表面は来校記念仕様、裏面は白無地)を全児童に配布し、うちわ裏面に自分の好きな言葉や大事にしたい言葉を書いて装飾することを、各家庭で夏休み中に取り組んでいただきました。会場入場時にうちわを振って歓迎の気持ちを堀島選手にお伝えします。

・堀島選手 紹介ムービーの放送

2学期スタートの8月29日(月)~9月1日(木)までの4日間、給食時の『お昼の放送』で、PTA制作の紹介ムービーを放送しました。

堀島選手のお母様からお預かりした、たくさんのお写真や動画を使用し、どんな競技をしているのか、どんな経験をしてきたのかを紹介する内容にしました。

・記念品(特製下敷き)の配布

来校記念として、勉強で使える下敷きを制作し、児童へ配布(配布日:開催日 9月2日(金))



成人教育委員会で堀島選手の紹介ムービーを作成し、給食の時間に流しました。子どもたちは、堀島選手が世界的に活躍している地元の選手であることを理解し、講演会を楽しみに待ちました。



熱中症対策でもある応援うちわには、自分の好きな言葉や応援の言葉を書きました。

学校の大型扇風機に加えて、ライオンズクラブからミスト付き大型扇風機を借りました。コロナ対策、熱中症対策万全です。



揖斐川町立揖斐川中学校 子育て委員会 家庭教育学級

「防災」をテーマに、県プログラムを参考にした家庭教育学級です。

「家族で防災会議 part2」



【在宅取組型】 令和4年7月21日(木)～8月28日(日) 夏季休業中

揖斐川中学校PTA子育て委員会

『在宅取組型』家庭教育学級

【家族で防災会議 part 2】

★夏休み期間中に家族で時間をとっていただき、是非とも、防災意識を高めるために『アンケート及び感想用紙(A4表裏1枚)』にご記入いただき、担任までご提出ください。(8月29日×)

昨年度は、家族で「防災グッズ、ハザードマップ、避難所などの確認」を行いました。今年度は、「家具等の転倒防止対策の見直し」を行いました。

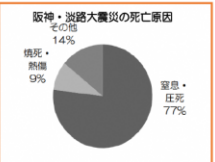
令和4年7月 揖斐川中学校

過去の大地震では、

約92%が地震発生から14分以内に現場で亡くなりました。
約8割が建物や家具の転倒による圧死です。

大地震前だからこそ、
命を守る準備ができます。

それが、**家具の転倒防止**



※家具の転倒防止を行うことで、下敷きになるのを防ぎ、逃げる時間をつくることができます。



揖斐川町 PTA は、「家具等の転倒防止」を促進したいと考えています。

今年度、以下の3項目の防災活動を進めていきます。

- ① 全家庭を対象に「家具等の転倒防止に関するアンケート」を実施します。
- ② 自宅における「家具等の転倒防止」を行う場合に参考となる資料を配布します。
- ③ 家族の命を守る視点に立ち、有事に備えて家族で防災意識を高めることを目的として、在宅型の「子育て研修会」を実施します。

災害時避難として「自宅避難」「車中避難」「知人宅等への避難」「指定避難所へ避難」いずれの場合にも、けが無く移動できることが大切です。寝室・居間・台所など、家過ごす時間の長い場所から「家具等の転倒防止」に取り組んでいきましょう。

【趣旨】 今年も日本の各地で地震が頻発しています。地震から家族の命を守るために、家具等の転倒を助ために準備することを考えましょう。

時間	目的	留意点
10分	はじめのこぼし 「みなさん、こんにちは、本日は参加いただきありがとうございます。」 アイスブレイク 「最初にみなさんと簡単なゲームを遊ばせよう、やり方を説明します。」 ◆お話し合い お話し合いの場を「話し合い」を行う。 お話し合いの場を「話し合い」を行う。 ◆お話し合い お話し合いの場を「話し合い」を行う。 お話し合いの場を「話し合い」を行う。 お話し合いの場を「話し合い」を行う。	○家具で押しつぶされやすい箇所を避ける。 ○家具の重さ、お茶やお湯が乗ると、その重さで家具が倒れる。お話し合いの場を「話し合い」を行う。 ○資料p2参照 「この冊子で、お話し合いの場を「話し合い」を行う。」
10分	3つの約束の確認 「では、これから活動に入りますが、その中みなさんにとって正しい約束が3つあります。」 ◆3つの約束を確認する。 ◆資料p3を渡す。 ◆阪神・淡路大震災では、地震発生から14分以内に建物や家具の転倒によって約92%の方が圧死しました。	○資料p3参照 ○家庭内の危険も出るため、危険箇所を把握して避ける。 ○約92%が地震発生から14分以内に亡くなったことを受け、本日の課題意識につなげる。 ○アンケートに沿って、我が家の現状について書いて出すようにする。 ○転倒防止対策を調査している場合は、どんな対策をとっているかを確認していただく。
20分	ワークシート 「それでは、アンケート用紙に沿って我が家の現状を確認していきます。」 ◆アンケート用紙の①をつけてください。 1 「あなたのご自宅では、地震に備えて家具の転倒防止対策をしていますか？」 2 「家具等の転倒防止対策をしている場所はどこですか？」 3 「あなたのご自宅では、どのように家具等の転倒防止対策をしていますか？」 4 「1」で②に○をつけた場合」	○アンケートに沿って、我が家の現状について書いて出すようにする。 ○転倒防止対策を調査している場合は、どんな対策をとっているかを確認していただく。

子育て委員会 第1回家庭教育学級
『家族で防災会議』感想用紙
在宅研修会の感想を、ぜひお聞かせください。よろしくお願いいたします。

ご協力ありがとうございました。

- ◆家具等転倒防止対策の有無などのアンケート結果と在宅研修の感想については、夏休み後に紹介します。
- ◆大地震前だからこそ防災意識を高め、『命を守る準備』をしたいものです。
- ◆先延ばしにしないで、「すぐに実行!!」を心がけ、家族の命を守りましょう。

「家族会議で使用使用するワークシート」
家族会議の進め方、家具転倒防止器具の紹介や対策の仕方の資料、家具等の転倒防止に関するアンケート、感想用紙で構成されています。

【防災会議を行った感想】

- ・阪神淡路大震災の死因の8割が圧死と知って驚きました。固定している家具もあるが、効果が小さいこと、壁に取り付けると効果があがることに驚きがあった。
- ・寝室やリビング、子ども部屋には大きな家具を置かないようにしているが、冷蔵庫の危険性を確認した。家族みんなが安全に暮らせるように準備をしていきたい。防災には関心があったが、家族で話をするとはなかったのも、よい機会となった。
- ・具体的にどんな方法があって、どんな種類があるのかなど、資料がとても参考になった。
- ・さっそくホームセンターに行ってもいいような防災グッズを買ってきた。

